

(新)高濃度バイオ燃料実証事業費(エネ特会)

200百万円 (0百万円)

地球環境局地球温暖化対策課

## 1. 事業の概要

今後の低炭素社会への転換ためには、高濃度のバイオ燃料の混合燃料の使用が可能な社会を作ることが不可欠であるが、E10 などの高濃度混合やフレックス利用(購入者が濃度を自由に設定)について、燃料の製造、供給体制について対応がなされておらず、また、車両等についても高濃度等への対応がなされていない状況にある。

そのため、モデル地域での実証を通じて高濃度の混合等を図るための、安全、環境、社会的課題を抽出し、解決策を導き出すことにより、高濃度混合等の推進を図る。

## 2. 事業計画

### (1) バイオ燃料高濃度利用導入可能性調査

バイオ燃料の高濃度利用を行うため、地域において、安全、環境、社会的課題を抽出し、高濃度バイオ燃料の供給体制など実用化するためのシステムの構築を検討する。

### (2) バイオ燃料高濃度利用モデル事業

E10、フレックス利用等のバイオ燃料の高濃度利用を実証するため、(1)での検討を踏まえつつ、数カ所の地域においてバイオエタノールやBDFの高濃度利用のための供給拠点を設け、高濃度混合用に調整した燃料を供給し、車両を運行し、バイオ燃料の高濃度利用の導入のための検証を行う。

## 3. 施策の効果

複数の地域において供給体制を整備し、対応車両を走らせるなどの実証事業を行うことにより、車両だけでなく、給油関連も含めた社会的な課題を抽出し、E10等の高濃度規格の明示化を図るとともに、国民にアピールすることにより、バイオ燃料の高濃度化利用の推進が図られる。

## 4. 備考

委託費 200百万円

# 高濃度バイオ燃料実証事業費

- 早期の実証によるE10等の高濃度燃料導入環境の整備 -

バイオ燃料の高濃度化により、さらに大幅なCO2削減効果が生じる。  
諸外国においては、エタノールについては、E5以上の高濃度利用が進んでいる  
(例: 米国、ブラジルなど) また、BDFについても同様に高濃度利用の取組が進められている。

